

どうなる岸田政権

〈課題と展望〉

毎日新聞社論説委員 佐藤 千矢子



- * 政権の転機になった安倍襲撃死亡事件
- * 消えた政権発足当時の2つのテーマ
- * 安倍不在で保守化した岸田政権
- * 木原誠二氏が唯一の相談相手
- * 出所不明な異次元の少子化対策
- * 岸田首相が安倍派切りに至る経緯
- * 唐突な派閥解消策の余波
- * 突然決断症^①を繰り返す岸田首相
- * 次期総理総裁候補者は誰になるか
- * 総選挙での自公過半数割れの現実味

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

今日はひどい雨の中、お越しいただいてありがとうございます。今日は、毎日新聞の論説委員の佐藤千矢子さんに来ていただきました。

佐藤さんは、毎日新聞に入社されてから、ワシントン特派員もご経験がありまして、その後政治部長を務められて、今は論説委員として新たに活動されていらっしやいます。この会は、昨年来朝日新聞の政治部長、読売新聞の政治部長とお呼びしましたけれども、今回は毎日新聞から来ていただくという形になっております。

内外の状況を見ますと、今日午前中、皆さんもうご覧になっているかもしれませんけれども、バイデンさんとランプさんのデイベートが始まっていますし、今週の日曜日はフランス

総選挙の第1回目の投票があります。それから、7月4日には英国の総選挙がありますし、7月7日、七夕の日には日本の都知事選挙、それからフランス総選挙の2回目の投票があるということで、内外の選挙が目白押しという非常に激しい状況になっております。

実際、自民党のほうも内部での権力闘争が激しくなって、この頃は公然と岸田首相に退陣を要求するようなことが行われるようになってきています。解散総選挙も含めまして、秋に向けてどういう展開になるのか非常に関心が高いところだと思います。今日は、その辺も含めまして佐藤さんにお話を伺ってみたいと思います。それでは佐藤さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）